

平成27年10月

各 位

一般社団法人日本ダクティル鉄管協会  
関 西 支 部

**(一社) 日本ダクティル鉄管協会 関西支部、中国・四国支部共催**  
**講演会のご案内**

皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は日本ダクティル鉄管協会に対し格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当協会では、水道事業体の皆様等を対象に、下記の講演会を開催させて頂くことといたしました。

ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、参加下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 開催日 平成27年11月17日(火) 午後1時30分より (受付は午後1時より)

2. 開催場所 アルファあなぶきホール(香川県県民ホール)

別添資料-1

住所：香川県高松市玉藻町9-10 ※車でのご来場はご遠慮下さい。

3. 講演内容

別添資料-2

① 13:35~14:35

講演1 「次世代に引き継ぐ上下水道システムを構築する為に」  
～高松市における水道広域化と水道施設の耐震化～

講師：高松市上下水道局 局長 細川 公紹 様  
局次長 森本 啓三 様

② 14:35~14:55

技術説明 「S50ダクティル鉄管の設計と施工について」

講師：(一社)日本ダクティル鉄管協会 技術委員

③ 15:10~16:40

講演2 「南海トラフ地震に備える」  
～水道施設の耐震化促進～

講師：金沢大学理工研究域環境デザイン学系地震工学講座 教授 宮島 昌克 様

4. 参加費 無料(交通費は各自でご負担願います。)

5. 参加申込

別添資料-3

参加希望者の所属、氏名をご記入の上、11月10日(火)までに、参加申込書をE-mailまたはFAXにてご送付をお願い致します。

なお、誠に勝手ながら会場の都合上、定員になり次第、申込みを締め切らせていただきます。

6. 連絡先

ご不明な点がございましたら、以下までお問い合わせ下さい。

(連絡先) (一社)日本ダクティル鉄管協会関西支部  
宮田 実紀 [E-mail: m-miyata@jdpa.gr.jp]  
TEL 06-6245-0401 FAX 06-6245-0300

以上

## アルファあなぶきホール(香川県県民ホール)

香川県高松市玉藻町9-10

TEL 087-823-3131

JR高松駅より東へ500mの場所にあります。  
ホール専用の駐車場はございません。  
ホール北側の「玉藻町駐車場」をはじめ、ホール周辺の有料駐車場のご利用をお願いいたします。

アルファあなぶきホール  
(香川県県民ホール)



## 平成27年11月17日 講演会スケジュール

時 間	内 容	講 師
13:00～13:30	受 付 (アルファあなぶきホール 大会議室前<小ホール棟4F> )	
13:30～13:35	開会挨拶 および 事務連絡	
13:35～14:35 (60分質疑含)	<p><b>講演1.『次世代に引き継ぐ 上下水道システムを構築する為に』 ～高松市における水道広域化と水道施設の耐震化～</b></p> <p>講演概要: 高松市では、平成23年4月に水道部門と下水道部門が組織統合し、これを契機に、平成24年9月に上下水道ビジョンを策定しました。ビジョンでは、「安心していつでもどこでも使える上下水道」を目指し、中・長期視点から上下水道事業のあるべき姿を見据えて、経営理念や目指すべき方向性を明らかにし、将来に向けた経営の効率化や効果的な施設整備など、今後10年間に取り組むべき具体的な方策を示しました。 本講演では、そのビジョンの概要を説明するとともに、重点施策として取り組んでいる水道事業の広域化と水道施設耐震化計画についての取り組みをご紹介します。</p>	<p>高松市上下水道局</p> <p>局長 細川 公紹 様</p> <p>局次長 森本 啓三 様</p>
14:35～14:55 (20分質疑含)	<p><b>技術説明『S50ダクタイトイル鉄管の設計と施工について』</b></p> <p>説明概要: 近年、多発している大地震に備えて管路末端部までの耐震化や、水需要減少に伴う水量の適正化が求められています。 このような背景のなか、呼び径50の耐震管として開発され、JDKA規格化されたS50形ダクタイトイル鉄管の構造、設計および施工について説明を行います。</p>	<p>一般社団法人 日本ダクタイトイル鉄管協会</p> <p>技術委員</p>
14:55～15:10	休 憩	
15:10～16:40 (90分質疑含)	<p><b>講演2.『南海トラフ地震に備える』 ～水道施設の耐震化促進～</b></p> <p>講演概要: 今世紀中には発生するといわれている南海トラフ地震について、想定されている地震動、津波、それによる被害、さらに津波被害のひとつとして想定される河川を遡上する津波による水道施設の被害について説明します。次に、南海トラフ地震津波による想定浸水地域の水道事業者に対して行ったアンケート調査内容とその結果を紹介するとともに、アンケート結果をもとに予想される河川を遡上する津波による被害について考察します。 最後に昨年度改訂された「水道の耐震化計画等策定指針」の内容を紹介し、水道施設の耐震化促進について考えます。</p>	<p>金沢大学 理工研究域 環境デザイン学系 地震工学講座 教授</p> <p>宮島 昌克 様</p>
16:40～17:00	閉会 (アンケートご記入)	

